

児童心理司リーダー研修

日程 **10月5日(木)【1日間】**

対象 (1) 児童心理司5年目以上の職員
(2) 児童相談所・子ども家庭総合支援拠点等で心理職のリーダー的役割を担っている方、リーダーの役割を学びたい方 **【定員60名】**

場所 特別区職員研修所（東京区政会館別館）（千代田区九段北1-1-4）

ねらい 児童心理司のリーダー（SVを含む）として求められる最新の知識・技術を学び、後進の指導・育成が行えるように資質の向上を図る。

10月	時間	教科目・講師（敬称略）
5日 (木)	9:00 ～ 12:30	人材育成、組織力向上に必要な基礎知識 組織目標の達成のためのチームマネジメントや職員育成のポイント等のリーダーシップ理論を学びます。児童相談所や子ども家庭支援センターなどの行政の組織でも役立つ基礎知識です。 《講師》 一守 靖 事業創造大学院大学 事業創造研究科 教授。 慶應義塾大学経営学修士（MBA）、同博士（商学）。 外資系企業やベンチャー企業における人事部門の責任者としてジョブ型人事制度の導入、社員教育、組織文化の変革、人事部員の育成等を推進すると同時に、複数の大学院において教育・研究活動に従事。アカデミックの知見をビジネスの実践に活かす取り組みを行う。ピープルマネジメント研究所代表。HR Network in Niigata 主催。
	13:30 ～ 17:00	組織人として心理職の専門性を高め、伝えていくには 模擬事例を通して、心理職のリーダーのあるべき姿について探っていきます。心理職としての専門性の向上、子どもや家族との面談、福祉職や関係機関との連携、個々の職員の育成などの日々の課題をグループワークで振り返りながら、組織における心理職として求められる様々な役割について考えていきます。 《講師》 山本 恒雄 愛育研究所 客員研究員、臨床心理士。 昭和50年4月から大阪府子ども家庭センター（児童相談所）で、児童心理司、児童福祉司、次長兼虐待対応課長等として勤務。日本子ども家庭総合研究所を経て、現職。その他、厚生労働省、内閣府、警察庁等で委員などを務める。